

年 度	2022年度（令和4年度）		
科 目	電気実習 D 【実習形式】		
担 当	池田勝亮、上村且良、○土屋俊雄	使用教室	11・12教室
実務経験	土屋：(株) ジーエス・ユアサにて地下鉄工事の現場代理人・電気機器設計を担当・電気技術教育に活かす。 池田：自営による電気・通信設備の設計施工業務に従事 上村：サンケン電設(株)の工事経験、メンテナンス作業経験		
種 別	✓後期		
到達目標	電気工作物の動作を理解し、適切な施工・検査と特性の測定に加えて、異常の発見修理ができる。		
資 格 実施月	2022年10月、12月		
評価方法	定期試験(中間・期末)70%程度とその他（実技課題作成、レポート・課題提出等）30%程度で総合的に評価する。		
教科書等	電気工事士教科書・第二種電気工事士らくらく学べる 電気工事士国家試験公表問題および既出問題・自主教材		
授業計画	<p>電気工事士国家試験の公表問題や各種施工方法の複線図作成・ボード取り付け実習・通電検査・評価などを通じ、一般電気工作物の保安に関する法律などによる、電気設備の各種計測技術の実際と、異常の発見・故障診断とその対策について学ぶ。</p> <p>第1週から第2週 一般電気工作物の電気保安のための各種測定の実務技術</p> <p>第3週から第4週 電気事故の実例とリスクアセスメント・ヒヤリハット</p> <p>第5週から第6週 自家用電気工作物と電気保安</p> <p>第7週から第8週 高圧受電設備とシーケンス制御</p> <p>第9週から第10週 弱電設備等、その他の電気設備</p> <p>第11週から第12週 太陽光発電システム、その他の建築設備の概要と施工実例</p> <p>第13週から第14週 接地工事および電圧電流電力の測定、絶縁抵抗測定</p> <p>第15週から第16週 一般電気工作物の保安に関する法律と電気設備技術基準</p> <p>第17週 これまで学んだ内容の演習と実習課題の作成</p> <p>その他 授業の中で、実際の電気設備等の見学を実地学習として織り交ぜて効果的な理解を促す。 計測や異常発見等の必要に応じて、基礎を復習し理解を深めるための電気工学実験を織り交ぜた実習を行う。</p>		